

講義名, 担当教員	受講生の声
First year Seminar A, Marc Humblet	<ul style="list-style-type: none"> ・チューターの方がとても親切にしてくれたので、プレゼンテーションもなんとか乗り切れました。また、先生がとてもフレンドリーでたくさん褒めてくれるのでモチベーションが上がります。 ・新入生向けの科目なので、専門知識は不要でついて行けた。 ・テストはないので、聴講ではなく単位取得で受講するのいいと思います。 ・英語を使う練習になると思う
Fundamentals of Earth Sciences 1, Marc Humblet	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語は知らないものばかりだが、先生の英語は聞き取りやすいので理学部の生徒ではなくても授業にはついていきやすいと思う。また、希望者はしっかりとした Review Session を TA が行ってくれるのでテストも取りやすいと思う。
Analytical Chemistry, Gabor Samjeske	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を使う機会が全くないと週1度でもあるのは大きく違うと思います。授業を受けて理解することはそんなに簡単ではないですが、頑張れば何とかできます。是非試しに受けてみて下さい。
Modern Japanese culture and Asia, Nathan Hopson	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しくても受ける価値はあります。私は長期留学を諦めたのですが、まるで現地の大学にいるようでした！
Special Topics in Biology V & VI, Maria Vassileva	<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習のモチベーションにしたり出来るかも ・チューター、TA のサポートを個人で受けることをお勧めします ・積極的に発言すべし ・先生は G30 の授業を担当されている方ですが、生徒は日本人のみなので、普通の G30 プログラムの授業とは少し毛色が違うように思います。理系の学部生でこれから英語論文を読む機会のある人はモチベーション高く参加できると思います。
Cell Biology 1, Maria Vassileva	<ul style="list-style-type: none"> ・先生がとても日本人学生を気にかけてくれます。G30 初心者でも気兼ね無く参加できる雰囲気です。
Studium Generale 1, Maria Vasileva	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発言する生徒が多い、かつ皆やさしいので、温かい雰囲気です。講義を受けられる。
Critical Literary Analysis, Kristina Iwata	<ul style="list-style-type: none"> ・予習が必要になる授業なので、時間割に余裕がある時に受けることをおすすめします。
Introduction to modern Japanese literature, Kristina Iwata	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や留学生がサポートしてくれるので、チャレンジしてみたい気持ちがあればぜひ参加してみてください。

講義名, 担当教員	受講生の声
Comparative Law 1 (Common Law), Sean McGinty	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週英語に触れることで、毎週英語に対するモチベーションを上げることができる
Inorganic Chemistry II, Gabor Samjeske	<ul style="list-style-type: none"> ・何も予備知識が無い状態では難しいと思うので、日本語で無機化学を一通り勉強した人向けだと思います。
Introductory Microeconomics I, Maria Martin Rodriguez	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の同授業とは授業のスタイルから異なりました。個人的には、G30の授業の方がわかりやすく、ためになりました。 ・少し早口だなと感じる事があります。 ・自分の知見が広がります ・先生が話すのが早いため、理解するのが難しい。もう少しゆっくりだと、英語が苦手な日本人などでも理解しやすいと思う。しかし、先生やチューターに質問できる機会が多いため、個人的には困っていません。 ・G30の学生のチューターと仲良くなることができて、海外の大学の授業を受講しているみたいで新鮮だった。専門用語の英語を理解することがはじめは難しかったが、授業を聞いて何回も繰り返し聴くことによって、何となく意味もわかってくるようになるので最初は確かに大変かもしれないけど、継続して受講を続けることが大切であると思う。大学でこのような制度があるのも珍しく、支援も手厚いのでこの機会を最大限に活用して将来の視野を日本国内だけではなく世界までに広げるきっかけになるのではないかと考えるので迷っていたらまずは挑戦してみるものがオススメ。
Mathematics for machine learning, Henrik Bachmann	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い内容ですが、授業の時間内では全体のほんの一部しか触れられないのでG30の講義を受けたことをきっかけに英語に関連する内容を調べてみると理解が深まり、かつ英語力が向上すると思うのでお勧めです。 ・とても良い経験になっている。名大以外の大学でも同じような取り組みがあるかどうか知らないが、NUEMIは名大に来て良かったと思える理由の一つになっている。
Special Mathematics Lecture, Introduction to functional analysis, Serge Richard	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間参加していますが、1年間続けたことで、着実に英語力は伸びたと思います。 ・日本人の受講者は少なく、グループ学習に来るメンバーもそこまで多くはないかもしれませんが、とてもいい制度なのでこれからもなくさないで欲しいです。
Calculus I, Serge Richard	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が内容をある程度理解している内容でないと、英語の学習以前の問題になってしまいます。
Physical Chemistry I, Peter Butko	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の講義の倍のペースで進むため大変だが、専門用語など英語で学ぶことができたので良かった。